

- ★ 第3回講義：企業が求めるコミュニケーション力とは！
- ★ 第4回講義：最前線で活躍する技術開発者たち
- ★ キャリア開発支援(H28)

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア開発室
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● 第3回 高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座・第2弾

平成28年6月23日(木) 16:20~17:50 於 品川キャンパス 多目的スペース

～ 企業が求めるコミュニケーション力とは！～

塩谷 和美 特任教授 東京海洋大学キャリア開発室

＊仕事ができる人とできない人は何が違うか。

どこに行っても仕事ができる人がいる。それはただ頭が良いというわけではない。仕事はチームでやるもの。日常の信頼感をしっかり作るためのコミュニケーションをしっかりとれるかがどうかで決まる。



＊職場のストレスの70%は人間関係。

特に新社会人はすべての人が初対面であり、慣れない組織で消極的な態度で上手く人間関係が作れないでいる。常に上機嫌を心がけ、明るく豊かな表情を、相手に関心をもって、理解しようと努めよう。時間をかけて、場の空気を読んで、聞き役に徹しよう。

＊人は「理屈ではなく感情で動く」ことを知る！

コミュニケーションは「意味と感情」を伝え合う行為であり、一方通行の情報伝達ではない。感情を伝えあい分かちあうことを事前にしっかりしておけば少々の行き違いがあっても関係は修復できる。意味をしっかりと伝え、感情を理解し合う力のある人はトラブルも未然に解決できる。対話に努めよう。

＊人間関係力とは人と人との間に信頼関係を築ける能力

なぜ人は人間関係で悩むのか？それは相手は自分と違う人間だという前提を忘れ、コミュニケーションをとるからだ。相手の立場に立って、相手の感情に共感することで信頼関係が構築できる。

＊ 講義の中で、対人関係を自らで診断する「エゴグラム」を実施したところ、各人が自分の想像していた通りの結果となった、あるいは自分の気づいていない部分が明らかになった。この【交流分析】の結果を参考にして、明日から自分の意識や行動を変えていきたいとの声が上がりました。

◆ キャリア開発室のキャリア開発支援

- ① 「高度専門キャリア形成論」講座で能力開発とキャリア自律意識の啓発
- ② 「キャリア面談」で就職活動の総合的な支援
- ③ 「インターンシップ派遣」受け入れ実績企業は17社あり、今年度も継続して応談の上で派遣します。

◆ メールアドレスを登録すると、講義日程・内容等をメールでお知らせします。ホームページから登録できます。 <http://www.kaiyodaicareer.com/>

● 第4回 高度専門キャリア形成論

現場の最前線で活躍する研究・技術開発者たち

平成28年7月8日(金) 16:20~17:50 於 品川キャンパス 多目的スペース

～ 民間企業で研究開発に携わりたいあなたへ～

内木 敏人 氏 ヤンマー（株）研究開発ユニット マリンファーム

＊ 私の就職活動：ヤンマー（株）との出会いと企業選択。

多くの企業説明会の中で、入社後にどの役割を与えられても、この会社なら自分は頑張れると確信した。社内では少数派だが、【水産分野】の学業・経験が「武器」として活かせると思った。社風も温かみを感じた。



＊ 新規事業に取り組み、会社への「新しい価値を創造する」喜び。

漁業者の課題解決を目指した技術開発を現場の最前線で行っており、「持続可能な養殖技術の発信」することに強い使命感を持っている。民間企業は「お客様」に価値を提供し、その対価を得ること。そこには「信頼関係」が大切であり、「対人スキル」も必要となる。

＊ 民間企業で研究開発をしたい皆さんへのメッセージ

- ① 人を相手にしたビジネスなので日ごろから人間関係で信頼獲得に心掛けすることが大切
- ② 企業の技術開発理念は「課題解決」問題を見つけそれを解決する能力をつけることを心がける
- ③ 計画性を磨くトレーニングを！学位研究ゴールまでの計画を綿密に立てることが訓練となる。

～ 「海洋」で つながる私のキャリア～

前田 洋作 氏 海洋研究開発機構 海洋技術開発部 長期観測技術グループ

＊ 子供の頃から海で遊び、海洋環境に興味を持った。

海洋研究開発機構への就職は学生時代の、海水中の二酸化炭素に関する研究の延長線上にあった。研究装置の設計や製作は楽しく、今もその技術開発の仕事を行っている。



＊ 8年間で4回の異動。最初の職場では海が嫌いになるほどの体験！

最初の職場で先輩にひどく叱られて、もう海洋の世界も見たくないと思った時期があった。今から思えば仕事を軽く見ていたのだろう。その時から謙虚になりプロ意識を持つことを心がけた。自分に厳しくいつも「問題の解決こそが仕事」ととらえ海洋の現場で励んでいる。

＊ 仕事を通して感じていること

装置、機器の不具合はその後の設計開発の示唆であり、仕事の多くは「問題の解決」だと思う。やはり、仕事を通じた勉強が一番身に付き、自己成長に繋がる。現在のモチベーションの源泉は『家族』だ。その支えがあってこそいい仕事ができると実感している。

＊ 皆さんへのメッセージ

- ① 現在学んでいる専門分野はとても大切。たとえ専門外の道に進んでもその経験は生きる。
- ② 自分の意見と考えは持ちつつ謙虚な心を忘れずに。と述べて、本日の講演が締め括られました。

お知らせ この秋10月より越中島キャンパスでも「高度専門キャリア形成論」講座を開設します！

◆ キャリア開発室の活動内容、最新情報、各種パンフレットや申請書等はホームページから入手できます。 <http://www.kaiyodaicareer.com/>

